

# ラオス森林管理・住民支援 プロジェクト

The Forest Management and Community Support Project



プロジェクト期間：2004年2月10日～2009年2月9日



(サヤブリ県サヤブリ郡ナモン村の子供たち)

# 1.背景

ラオスでは、農林業は最も重要な産業であり、GDPの約5割を占めている。特に、森林・林業セクターは、ラオスの経済、山間部に住む住民の生活の糧として、さらには環境保全といった重要な役割を果たしている。

ラオスの北部地方では、焼畑が主要な農業生産形態となっている。北部地方での土地利用形態を見ると、焼畑の休閑地等が1992年以降急速に増加しており、2002年には、北部地方の土地面積の60%以上が焼畑の休閑地等で占められている。さらに、ラオス全体では焼畑面積が減少しているものの、北部地方では逆に増加している。北部地方の焼畑面積の増加が主たる森林の減少原因となっており、全国平均よりも森林の減少の度合いが高い現状にある。

このため、ラオス政府は日本政府に、焼畑耕作の安定化や貧困削減に効果的な森林の保全・復旧、及び生計向上のための農林水産業などの生産活動の改善を図るための技術協力を要請した。

## 土地利用及び森林面積の推移

(単位：面積；1,000ha、割合；%)

土地利用		全国				北部 (割合)	
		1992年		2002年		1992	2002
		面積	割合	面積	割合		
現状森林		11,168	47.1	9,825	41.5	36.3	27.9
潜在森林	小計	8,949	37.8	11,152	47.1	56.2	66.6
	竹林	1,532	6.5	539	2.3	6.9	2.0
	休閑地等	6,791	28.7	10,096	42.6	45.5	60.4
	焼畑	626	2.6	517	2.2	3.7	4.1
その他樹木地		1,444	6.1	287	1.2	2.7	0.9
農耕地		850	3.6	1,200	5.1	0.6	1.5
その他		1,269	5.4	1,217	5.1	4.3	3.1
合計		23,680	100	23,680	100	100	100

資料：Land use and forest cover survey, MAF/SIDA, 1992年及び2002年(予備調査)

(注) 北部：ボンサリ、ルアンナムタ、ボケオ、ウドムサイ、ルアンプラバン、ホアパン及びサヤブリの7県



焼畑のための火入れ

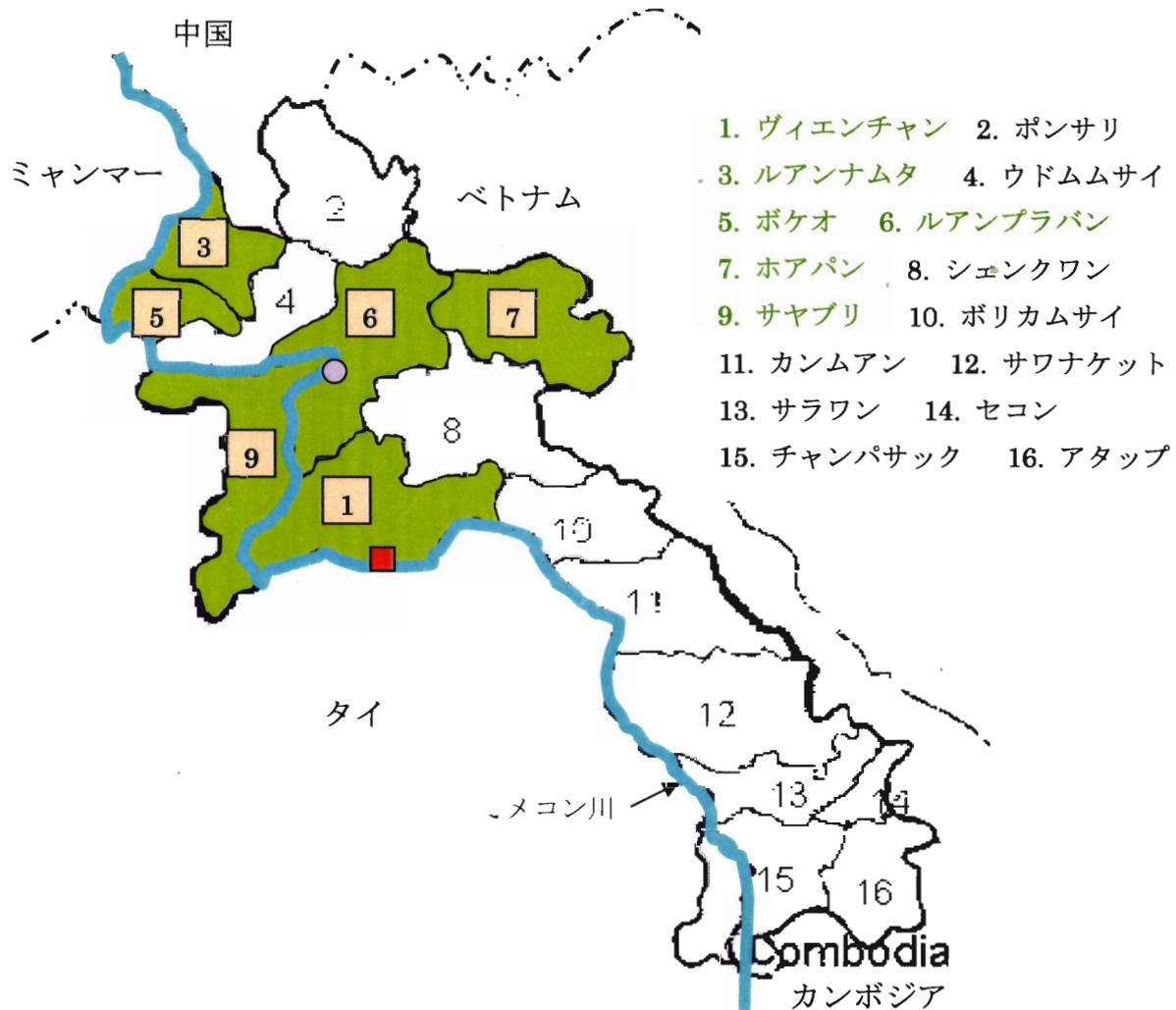


ラオス北部での焼畑

## 2. プロジェクト活動の対象県

本プロジェクトは、焼畑により森林の減少・劣化が著しい北部ラオスの6県を活動対象とし、具体的にはルアンプラバン、ボケオ、ルアンナムタ、サヤブリ、ホアパン、ヴィエンチャンの各県を対象にしている。なお、北部地域であるボンサリ、ウドムサイ、シェンクワン、サイソンブン特別区は、他のドナーの協力、セキュリティ、地理的条件等の理由でプロジェクトの対象外とした。

プロジェクト活動の対象県



(注)

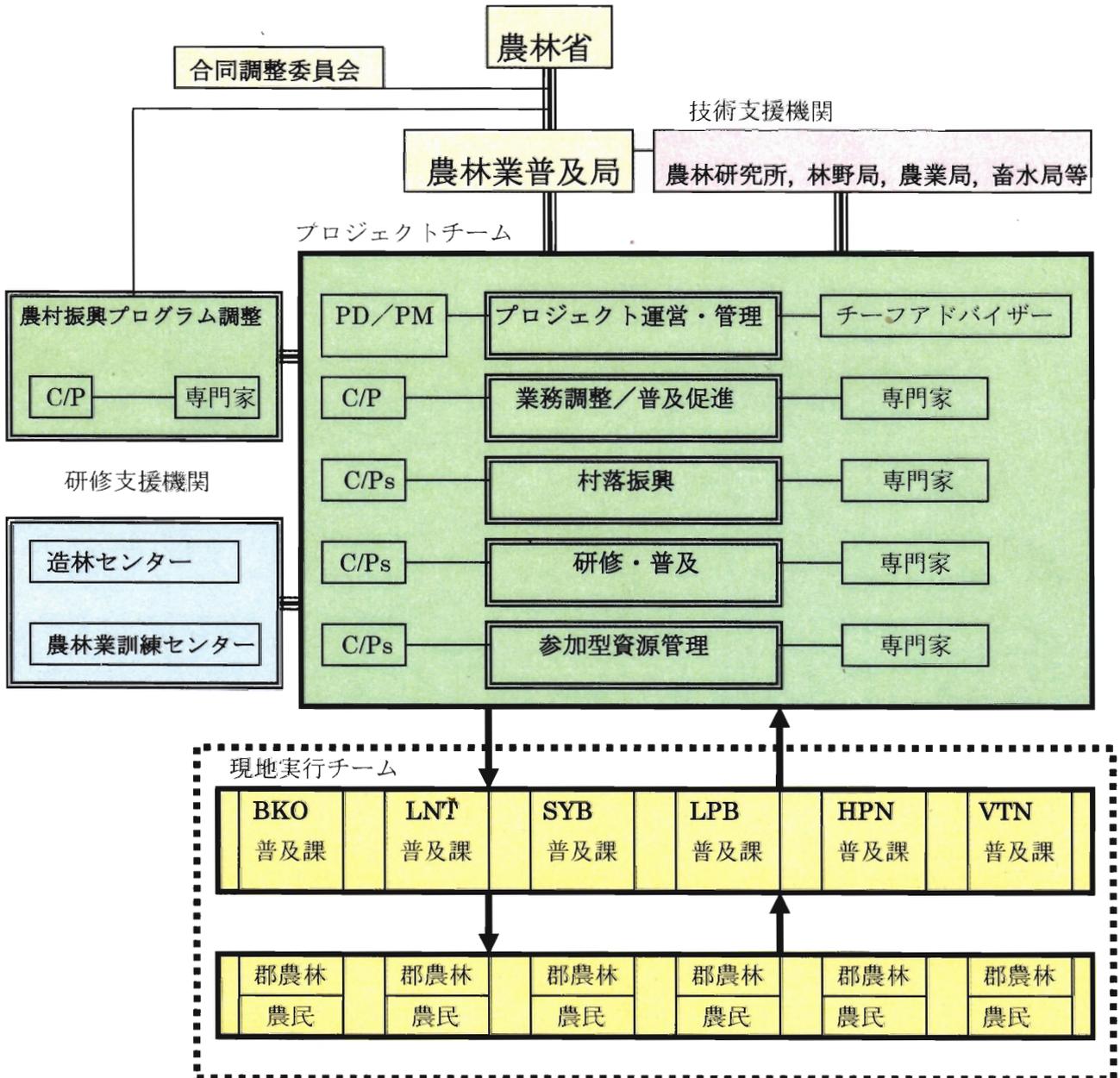
**1 3 5 6 7 9** : プロジェクト対象県.

**■** : ヴィエンチャン業務調整事務所 **●** : ルアンプラバン・プロジェクト現地事務所

### 3. プロジェクト実施体制

本プロジェクトの組織及び実施体制は下記の図のとおりである。プロジェクトは、農林省農林業普及局の管轄下で実施される。

プロジェクトの活動は、協力内容が農林水産業等広範に渡っていること、また、6 県と広域であること等からラオス国内の研究機関（農林省農林研究所：NAFRI）や関係行政・技術官庁（農林省林野局（DOF）、農業局（DOA）、畜水産局（DLF）等）とも連携をとりながら実施することとしている。



(注):

BKO=ボケオ県, LNT=ルアンナムタ県, SYB=サヤブリ県, LPB=ルアンブラバン県, HPN=ホアパン県, VTN=ヴィエンチャン県, 普及課=県農林局農林業普及課(PAFES)、郡農林=郡農林事務所(DAFO)、PD/PM=プロジェクト・ダイレクター/プロジェクト・マネージャー、C/P=カウンターパート

## 4.プロジェクトの目的と戦略

### 4-1. 目的

本プロジェクトは、村民の自主的な活動によって、持続的な利用可能な森林保全や復旧、及び焼畑耕作に過度に依存しないための生計向上生産活動が活発になることを目的とする。

### 4-2. 戦略

山間部に住む村民にとって、焼畑耕作は生計維持の根幹的な生産活動である。このため、焼畑耕作の安定化や減少させるための諸活動は、焼畑耕作に代わる生産活動を同時に支援、実施することが不可欠である。この視点に立って、プロジェクト目的を達成するため、下記の戦略を採用する。

生活の基盤である森林は社会安全ネットとして重要であり、森林の保全に対する村民の意識高揚、及びその具体的な活動である持続的な森林資源利用及び管理への支援が戦略1である。森林の劣化・消失の主な原因である焼畑耕作への過度な依存から脱却するため、焼畑耕作に代わる農業等の諸生産活動を活性化させ、生計向上を図るための支援が戦略2である。これら戦略1及び2をサポートする手段として、行政機関等の普及活動があり、その普及手法、普及体制、普及員の育成が戦略3である。

**戦略 1: 持続的な森林・土地資源の利用と管理技術の支援**

**戦略 2: 焼畑に代わる農業等生産活動及び生計向上への支援**

**戦略 3: 上記1及び2をサポートする普及活動の改善と推進への支援**



## 5. プロジェクトに期待される成果と活動

### 1. モデルサイトにおいて、森林管理や各種生産に関する技術を展示

- (1) 村落の社会経済調査を実施し、モデルサイトを選定
- (2) モデルサイトの村民によって森林資源や土地利用の状況等が把握され、村落森林管理及び生産振興に関する活動計画が作成・実施されるよう支援を実施。
- (3) モデルサイトにおける活動状況及び成果を周辺集落に対して展示を実施。

### 2. 普及職員及び村民に対して研修を実施

- (1) 対象グループ別に研修実施計画を作成
- (2) 研修のカリキュラムとテキストを作成
- (3) 研修実施計画に基づき研修コースを実施
- (4) 研修後の活動についてモニタリングを実施

### 3. 選定されたプロポーザルに対して住民支援プログラム(CSP) を実施

- (1) 「住民支援プログラム」実施要領を作成
- (2) 村民から提出され選定された「住民生産活動計画」に基づく活動を支援
- (3) 「住民生産活動計画」に基づく活動のモニタリングを実施

### 4. 森林管理や普及手法・組織体制について政府機関へ提言

- (1) 森林管理及び普及制度等に関するオペレーション・マニュアルを作成
- (2) 森林管理及び普及手法や制度等に関する提言の実施

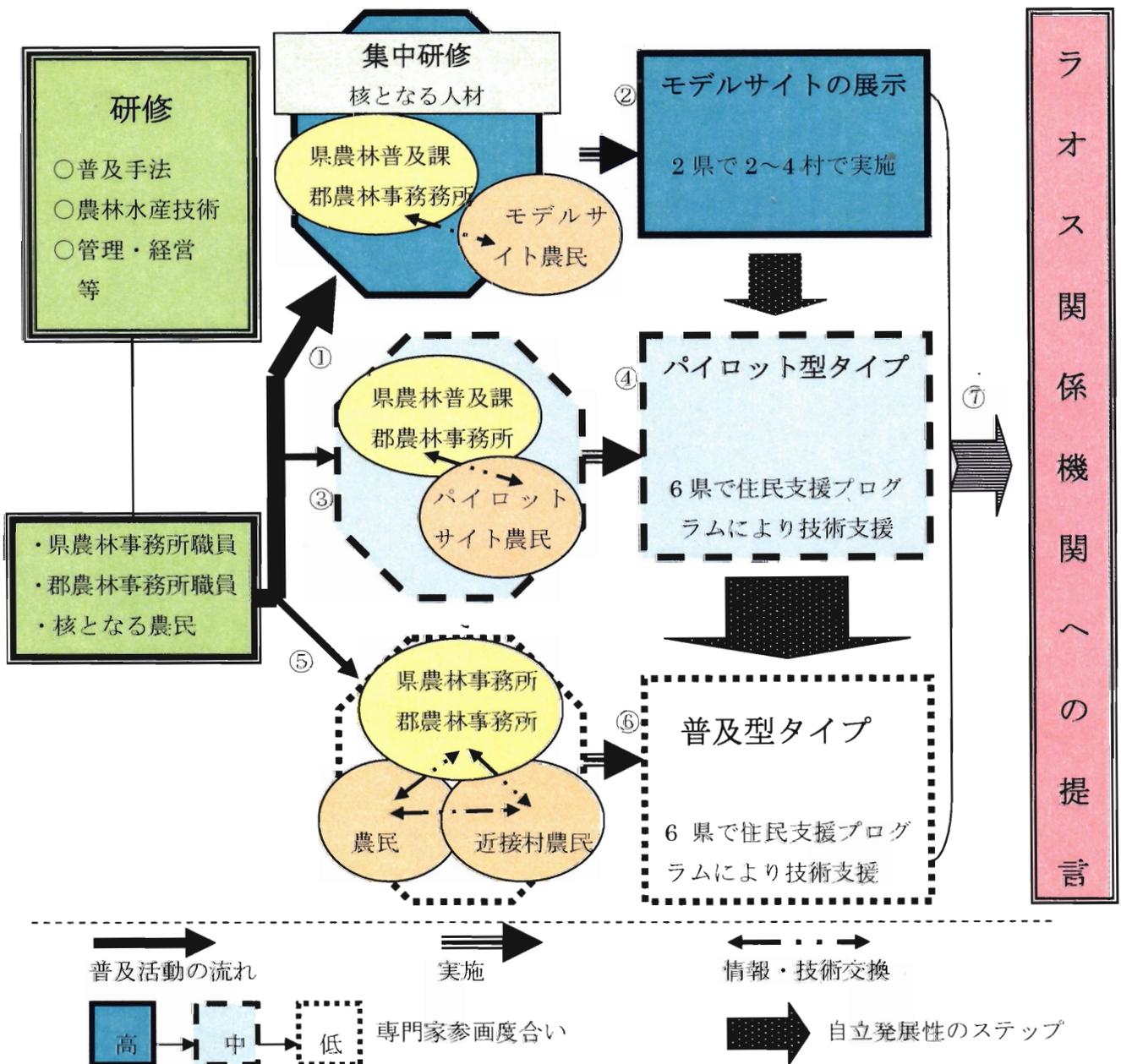
(注)：住民支援プログラム(CSP)とは、村民が焼畑への過度の依存から脱却するために、村民自ら、森林保全活動や焼畑の代替生産活動についての「行動計画」を作成し、自立発展性のある活動内容について、プロジェクトが「活動グループ化」、「技術」、「シード的な資機材」等を支援するプログラム。

## 6. プロジェクト実施の流れ

本プロジェクトで実施する一連の研修は、各種農林水産技術や普及手法等広範囲な内容、また、県職員から村民までのレベル別の研修が予定されている。これら研修は、普及職員の普及技術の向上や草の根レベルの参加型普及を促進することを目的としている。

プロジェクト活動のプロセスとして、①プロジェクトによるモデルサイトの造成を通じて、6県から選抜された職員を、各県の普及活動の中心的役割を果たす人材として育成する。②研修を受け育成された人材が、それぞれの県及び郡の普及担当職員を訓練し、村民のニーズを分析し、プロジェクトの支援を得ながらパイロットタイプの村落振興活動を行う。そして、③自立発展性を考慮して、最終的な普及形態として、“農民から農民への普及”を目指すこととしている。

プロジェクト実施の流れ





### FORCOM プロジェクト現場事務所

c/o Provincial Agriculture and Forestry Office

Luang Prabang, Lao P.D.R.

Tel: (856 - 71- 254379)

Fax: (856 - 71- 254378)

E-mail: XXXXXXXXXXXX

### FORCOM 業務調整事務所

c/o National Agriculture and Forestry Extension Service

Ministry of Agriculture and Forestry

Vientiane, Lao P.D.R.

Tel/Fax: (856 - 21- 740256)

E-mail: XXXXXXXXXXXX